

百葉箱

正しい気温と湿度の観測には、強い風雨にも長期間にわたって耐えられる丈夫な百葉箱を使うことが必要です。当社の百葉箱にはいろいろな型がありますが、いづれも、よろい式壁、扉はすべて複葉にし、使用材は良質の檜で1等材を採用しています。また、扉金具はすべてクローム製にしてあります。

特長

1. よろい(SLAT)式壁、扉はすべて複葉。
2. 用材はすべて飛騨産檜の良質1等材。
3. 扉金具はすべて18.8クローム製。
3. ピボットヒンチ使用

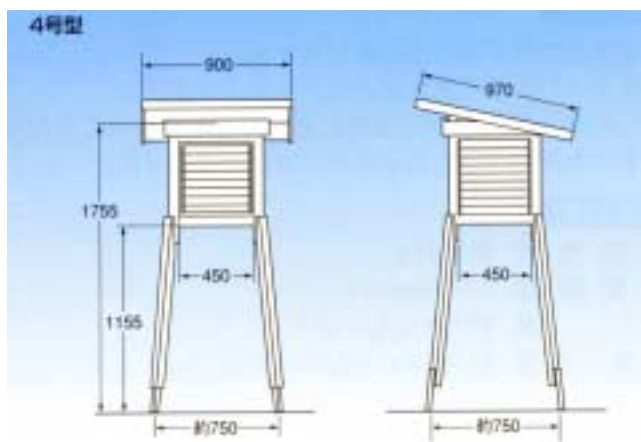
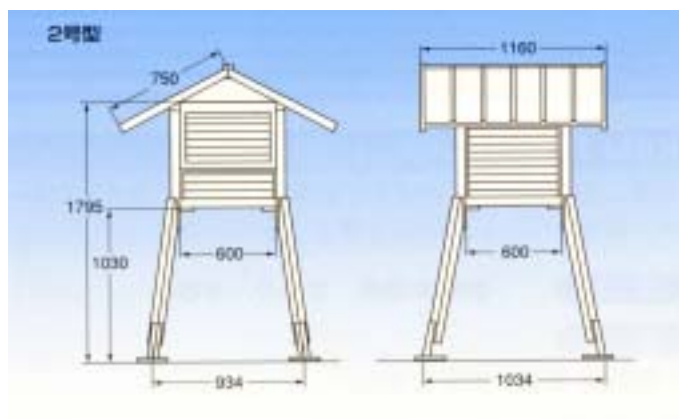
百葉箱の据付と効用

百葉箱の正面(扉側)を真北に向けて箱の底は地表から約1mになるように取付けます。

百葉箱は四方が錠戸式になっており、空気は自由に出入りできるが、日光や雨は侵入しません。また底も板張りで地面からの熱放射を防ぎます。

百葉箱内には水銀温度計、最高最低温度計、自記温度計、自記湿度計などを据付けます。

1号型は内形約980×980×980cmと大型で、一般的にはあまり使用されていません。



株式会社 小松製作所

〒153-0043 東京都目黒区東山1丁目12番13号

TEL.03-3719-7131(代) FAX.03-3719-7134